

2026年度 民間奨学財団等（学内選考なし）募集状況

※一覧の青色は「財団等に直接応募」、黄色は「大学一括応募」です。
※私費外国人留学生対象の奨学金や海外留学奨学金については、こちらではなく別に募集があります。

NO.	奨学財団名等	対象 (2026/4現在)	募集要件等	金額・期間等	学生支援課 提出期限 (いずれも期限の13時まで)	応募方法等	学部生	院生	大学 推薦枠	給付/ 貸与/ 返還支援	他奨学金との 併給
1	公益財団法人 キーエンス財団	学部1年	・2026年4月入学の学部1年生で、2026年4月1日現在20歳以下であること ・経済的な支援を必要とすること ・給付期間中において、財団が定めるレポート等を期日までに提出できること ・給付型奨学金との併用は不可（貸与奨学金との併用は可）	月額100,000円(給付) 標準修業年限まで	直接応募	【直接応募】 財団HP(https://www.keyence-foundation.or.jp/) で申請要領等を確認のうえ、財団HP上で応募 応募締切 2026年4月3日午前10時	○ 1年		－	給付	制限あり (貸与型奨学金 は可)
2	渥美国際交流財団 2026年度渥美奨学生	博士	・大学院博士(後期)課程に在籍し、2027年3月(秋入学は2027年9月)までに博士号を取得する見込みのあるもの ・国際理解と親善に関心を持ち、財団の交流活動に積極的に参加する意思のあるもの ・居住地が関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）にあるもの ・奨学金受給期間に正規の職（常勤職）に就く予定のないもの ・外国語能力が高ければなお可	月額250,000円(給付) 2026年4月～2027年3月 または 2026年9月～2027年8月 の1年間	直接応募	【直接応募】 申請要領等を財団HP（ https://www.aisf.or.jp/jp/ ） からダウンロード 募集期間 2025年9月1日～9月20日		○ 博士	－	給付	制限あり (要項に記載)
3	経団連グローバル 人材育成スカラシップ	学部2年以上 修士課程	・将来、グローバルなビジネス領域での活躍を目指すとともに、日本の経済社会の発展にも貢献する意思もしくはビジョンを有する者。また、チャレンジ精神が旺盛で、留学を通じて、外国語によるコミュニケーション能力や、異文化・社会への適応能力を向上させる意欲がある者。 留学で 得た学びを将来のキャリアに活かしていくビジョンが明確である者 ・日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者 ・応募時に財団の指定する日本の大学の学部2,3,4年生または、大学院博士前期課程（修士課程）1,2年生の学生 ・交換留学、認定交流学、協定校留学、私費留学等で、2026年度中（2026年4月～2027年3月）に留学を開始し、海外の大学・大学院に 約1年間（8か月以上1年未満）留学する者。ただし理工系専攻者については、6か月以上1年未満の期間、海外の大学等の研究室で研究す る者や海外の大学の講義等を受講する者も応募可 ・大学入学後に取得した単位のGPAが2.0以上である者 ・海外留学にあたって他の奨学金を受ける予定のない者（併願は可）	1人200万円を支給 （留学先大学からの受入決定後に 一括支給）	直接応募	【直接応募】 財団HP(https://idc.disc.co.jp/keidanren/scholarship/) で申請要領等を確認のうえ、財団HP上で応募 応募受付期間 2025年8月5日（火）～10月8日（水）	○ 2年 以上	○ 修士	－	給付	不可
4	公益財団法人 本庄国際奨学財団 ※併給について下線部追加 の変更連絡がありました （9/25修正）	修士課程 博士課程	・2026年4月時点で在籍期間が残り1年以上あること ・専門職大学院は原則的に対象外だが、研究計画書を提出できる場合は応募可 ・博士課程はすでに在籍中の場合は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に35歳以下であること、修士課程はすでに 在籍中の場合は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下であること。 ・大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者 ・国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同窓生ネットワークに積極的に参加または協力できる者	(1)月額23万円を1～2年間 (2)月額21万円を3年間 (3)月額18万円を4～5年間	直接応募	【直接応募】 財団HP（ https://www.hisf.or.jp/scholarship/graduate-school/ ） で申請要領等を確認のうえ、 奨学金オンライン申請システムより必要事項を入力（ https://entry.hisf.or.jp ） 募集期間 2025年9月1日～10月31日		○	若干名	給付	●日本学術振 興会特別研究 員 ●国立研究開 発機構科学技 術振興機構 (JST)による フェローシップ (JSTが他の奨 学金との重複受 給を認めているものに限る) 以外 の奨学金との 併給不可